



光る風

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3
TEL (078) 581-1013 (代表)
FAX (078) 583-3797
URL <https://hmhc.jp/>

特集 : 院長インタビュー

この病院とともに歩む

医師としての思い、人としての眼差し



- 院長インタビュー
- 新任のスタッフのみなさんに聞いてみました！
――スタッフのQ&A――
- 外来のご案内
- 交通のご案内

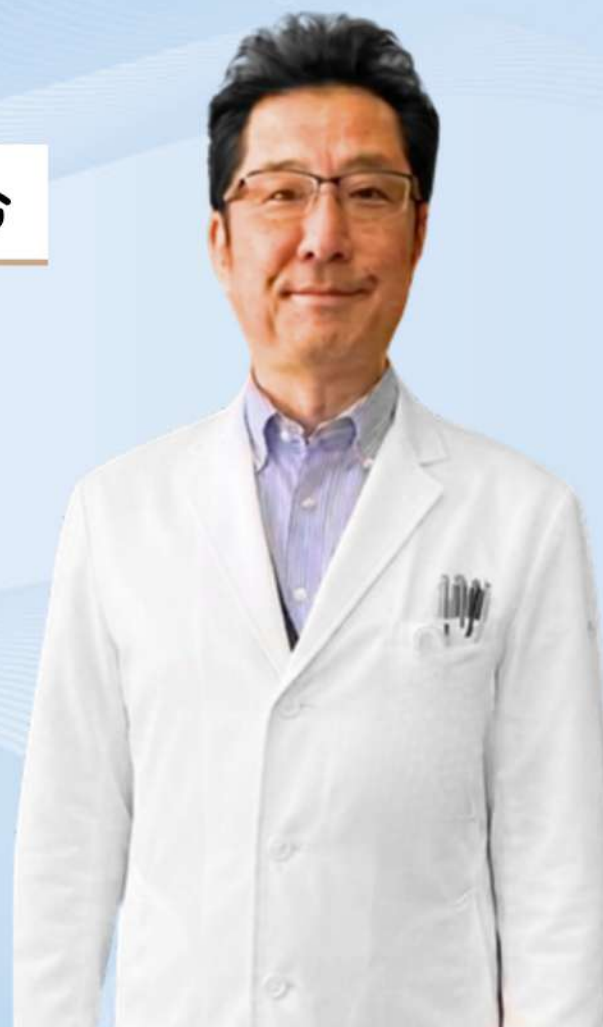
この病院とともに歩む

医師としての思い

人としての眼差し

院長 青山 慎介 あおやま しんすけ

広島県福山市出身。1997年神戸大学医学部卒。2003年神戸大学大学院医学系研究科修了。県立淡路医療センター、神戸大学医学部附属病院を経て、2023年兵庫県立ひょうごこころの医療センター副院長として入職。2025年4月より現職。医学博士。



2025年4月、青山慎介先生が院長に就任しました。青山院長に、医師としての歩みや、病院を引き継いだ思いについてお話を伺いました。

01 ひとりの人間として、この場所に立つまで

医師を目指すきっかけを教えてください。

医学部を志した頃から、精神科医という道はすでに心の中にありました。

音楽や読書を通じてさまざまなストーリーに触れることが好きで、同時に「プロフェッショナルになりたい」という思いも持っていました。そして、“わけのわからないもの”への強い興味――その最たるものが「心」や「脳」だったのです。その両方が交わる場所として行き着いた答えが、精神科医でした。

その原点には、幼い頃の記憶があります。福山市の山奥にあった祖父母の家の近くに、精神科病院がありました。カブトムシを捕りに行くとき、その病院の敷地内を通り抜けていたのですが、ある日、隔離室の裏手を歩いていると、中にいた患者さんから「ボク、虫取りか？ええなあ」と声をかけられました。その何気ない一言と、あの日の風景が、今もずっと心の中に残っています。

精神科医として、心が折れそうになったことはありますか？そのとき、どのように乗り越えてきたのでしょうか？

精神科医として歩む中で、心が折れそうになった瞬間は何度もありました。患者さんを突然失ったとき、治療がうまくいかないとき、「こんな仕事、やってられない」と思ったこともあります。

でも、そんなとき支えになるのが、回復されていく患者さんの姿です。かつて医療者を困らせ、自分自身も深く傷つけていたあの方が、いつの間にか回復して、自分らしく前を向いて生きている――そんな姿に出会うたびに、胸が熱くなります。その回復は、こちらの手柄などではありません。ただ、その人の回復の歩みに少し寄り添えたことが、「自分も捨てたもんじゃない」と思わせてくれる。それがまた、前に進む力になっています。

02 診療室で大切にしていること

診察室で患者さんを迎え入れる際に、大切にしていることはありますか？

恩師である中井久夫先生から、こんな教えを受けました。「患者さんと呼ぶときは、医者自身が診察室の扉を開けて、顔を見て、名前を呼んで迎え入れなさい」と。今でこそ番号で機械的に呼び出すことが当たり前になりましたが、医者が扉を開けて顔を見せるだけで、待合室は落ち着くし、調子のよし悪しを医者も察知できる――先生はそう教えてくださいました。

足の悪い方や、小さなお子さんを連れていらっしゃる患者さんは、今でも自分で扉を開けて迎え入れています。形は変わっても、あの日教わった心持ちは、今も診察室の土台として、静かに息づいています。

もう一つ、大切にしていることとして、山口直彦先生から教わった言葉があります。「自分ができていないことを、患者さんに求めるな」と。不摂生をしない、親や友人を大切に、社会とうまくやっていく――自分自身も十分にできているとは言えないことを、医者だからといって偉そうに患者に求めてはいけません。その戒めを胸に、今も診察室に向かっていきます。

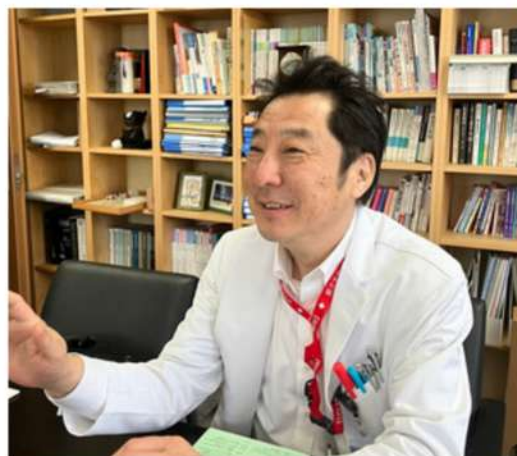
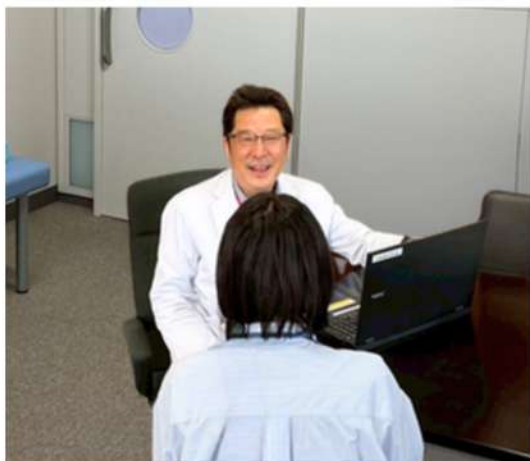
03 受け継いだ志と、これからの病院へ

病院を引き継がれて、どのような思いで院長職に臨んでいますか？また、今後の病院についてどのようにお考えですか？

田中究前院長先生から引き継いだこの病院には、大切にされてきた二つの柱がありました。

一つは、退院支援への思いです。病院は生活する場所ではなく、患者さんが地域へ帰っていくための場所である――田中先生は、その人が望む生活の場で生きていけるよう支援することを大切にされていました。医師や看護師、精神保健福祉士をはじめとする多職種のスタッフが力を合わせ、その理念をある程度形にすることができました。

もう一つは、子どもの精神医療への対応です。ODや強度行動障害、発達障害など、子どもをとりまく精神科医



療のニーズは年々高まっています。田中先生はその課題にもしっかりと向き合ってくださいました。

この二つはいずれも、社会がこの病院に求めるニーズと見事に重なるものでした。

引き継いだ今、自分自身が課題として感じているのは、変化への備えです。1年先、5年先、10年先――時代とともに状況は必ず変わっていきます。その変化に柔軟に対応できるよう、スキルと準備を積み重ねていくことが、院長としての責任だと考えています。

病院の職員に求めることは何ですか？

それは、「自分の家族や大切な人が心の病気になったとき、自信を持ってここで治療を受けてほしいと思える病院にすること」その思いを持ってほしいと思っています。それが、この病院にとって最も大切な基準だと考えています。

県立の精神科病院として、少なくとも兵庫県内で最も良い精神医療を提供している――そう、ここで働く職員自身も、外から見る人々も、そう感じられる病院でありたい。その思いを、職員全員と共有しながら、日々の診療に臨んでいます。

最後に患者さんへのメッセージをお願いします。

精神疾患や心の病からの回復とは、病気になる前の状態に戻るのではないと思っています。病気になる前の自分に戻るということは、また同じように病気になるかもしれない自分に戻ることもあるからです。

病気を経験したからこそ、たどり着ける回復の姿があるはず。以前の自分に戻れないことを嘆くのではなく、その経験を経たからこそ、より強く、よりしなやかに変わっていける自分が必ずある――そう信じています。

過去は変えられません。でも、そこにとらわれすぎのではなく、これから何ができるのかを一緒に考えたい。そのために、私たちはここにいます。

よりよく生きていこうという意思がある限り、どこまでもサポートし続ける人たちがこの病院にはいます。それだけは、必ずお約束します。

NEW

新任のスタッフのみなさんに聞いてみました!

スタッフの Q & A

【仕事】 工作中、大切にしている「言葉」や「モットー」は?

県職員として行政に携わる中で、制度や手続だけでは解決できない課題も多く、相手の思いに耳を傾けて理解する姿勢こそが、信頼関係を築き、解決への第一歩になると実感しています。

【病院】 この病院に来て、最初に感じた印象は?

任初日、緊張して病院への坂を登りましたが、満開の桜と手入れの行き届いた花壇に迎えられ、心が和らぎました。この穏やかな環境は、患者さんやご家族、職員にとっても大きな支えだと感じています。

管理局長

石川 雅重

出身地：兵庫県加古郡播磨町



【挨拶と患者さんへのメッセージ】

このたび、管理局長に着任いたしました石川です。これまで兵庫県職員として、主に福祉行政に携わってまいりましたが、病院で勤務するのは今回が初めてです。県内の精神科医療を支えるひょうごこころの医療センターの一員となれたことに、大きな責任を感じるとともに、身の引き締まる思いです。これまで私は、行政の立場から県民の皆さまの暮らしや健康を支える仕事に取り組んでまいりました。これからは病院という、患者さんやご家族により近い場で、そのお力になれるよう努めてまいります。

総務部次長兼総務課長

伊東 政彦

出身地：兵庫県姫路市

【休日のリフレッシュ方法は?】

趣味の釣りと水耕栽培にフル回転。釣りは、アナゴ、メバル、カレイなどを狙っていますが、下手の横好きです。

【自分を元気にする「魔法の食べ物」は?】

「みょうが」です。クックパッドによる無限みょうがのほか、冷や奴や味噌汁に大量投入して食べますが、そのときは幸せも感じます。あまりにも好きすぎて、プランター栽培にチャレンジしています。

【患者さんへのメッセージ】

総務部は患者さんと直接関わることは少ないですが、病院をより良くするために私に何ができるのかを常に考え、職員一人ひとりが力を発揮できるよう、全力で支えてまいります。皆様、よろしくお願いします。



看護部次長

吉見 朋子

出身地：大阪府大阪市

【自分だけの小さなこだわり、またはルーティンは?】

実は最近、万歩計をつけており、数字を確認しながら二ヤしています。

【一番大切にしたいと思っていることは?】

「自分の好きな自分でいること」です。仕事に限らず、色々なことを考えたり迷ったりする中で、「もーっ!!!」となることもありませんが、「あの時の私、やるねー」といつも言える自分でいたいと思っています。

【患者さんへのメッセージ】

この病院には今回初めて来たのですが、桜、チューリップ、鯉のぼりと感激が続いています。春を感じながらがんばります。よろしくお願いします。



医事企画課長

溝口 真吾

出身地：兵庫県西宮市

【休日のリフレッシュ方法は?】

最近はずっと平日と同じ時間に起きて、家の近所をウォーキングしています。朝から体を動かすと頭もすっきりしますし、時間も有効に使えます。このおかげもあってか体重も減りました。

【仕事】 工作中、大切にしている「言葉」や「モットー」は?

「情報共有」です。仕事をやる上では当たり前のことかもしれませんが、疎かにすると問題が起きてしまいます。日常のコミュニケーションを密に行い、スタッフが共通認識を持って仕事に取り組むことが大切だと思います。

【患者さんへのメッセージ】

管理棟1階の入院受付、初診受付、会計等の窓口の中で勤務しています。患者さんが病院で最初に来られるところですので、安心して受診いただけるよう心がけてまいります。



検査技師長

足立 武

出身地：兵庫県丹波市

【最近、小さな幸せを感じたことは?】

最近生まれた孫の成長を見るのが何よりの楽しみです。毎日少しずつ変わっていく姿に癒やされ、明日への元気をもらっています。

【これまでの経験で、一番大切にしていることは?】

「データだけを見るのではなく、人をしっかり見ること」を大切にしています。

【患者さんへのメッセージ】

病院での検査は、お薬の影響を確認し、体の健康を守るために欠かせないものです。だからこそ、お一人おひとりの声に耳を傾けられる検査室でありたいと思っています。これからも、患者様の心と体の健康を支えられるよう、丁寧に向き合っております。どうぞよろしくお願いいたします。



放射線技師長
北住 一哉

出身地：兵庫県西宮市

休日のリフレッシュ方法は？

ツンデレな愛猫をひたすら愛でています。

患者さんへのメッセージ

2年間の単身赴任を終え、現在は愛猫のいる神戸の自宅から通勤しております。病院までの坂道では息切れしながらも、道中の桜に励まされています。県立病院勤務は36年目となり、こころの医療センターでの勤務は今回が初めてとなります。当施設には、他の県立病院と同等のCT装置、MRI装置、SPECT-CTなどの画像診断機器が導入されています。「だれもが安心できる医療」に貢献できるように、これまでの経験を生かし、質の高い画像提供に努めてまいります。



看護部東1病棟看護師長
大納 綾

出身地：兵庫県神戸市

最近、小さな幸せを感じたことは？

4月が誕生日で、この時期は桜をはじめ、花々が美しく咲き誇る頃となります。当たり前のことですが、元気な身体で生まれてきた事に、幸せと感謝の気持ちを感じます。

自分を元気にする「魔法の食べ物」は？

餃子です。自分で大量に作って食べるのも大好きですが、某チェーン店の餃子も大好きです。

患者さんへのメッセージ

看護スタッフはじめ関係職種で検討を重ね、様々な悩みや状況を抱えておられる患者さん・親御さんが、入院を通して少しずつ前に進んでいけるよう一緒に考えていきたいと思っております。



心理室長
井場 智恵

出身地：千葉県市川市

自分を元気にする「魔法の食べ物」は？

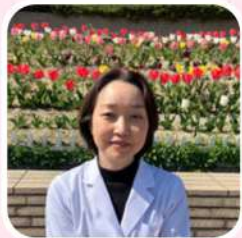
5年ほど前から、黒糖のかかった「麩菓子」にはまっています。仕事の後、家に帰って麩菓子にカブッとかぶりつくとリラックスできます。

最近、小さな幸せを感じたことは？

植物をうまく育てられず、いつも枯らしてしまうのですが、昨年カーネーションの鉢植えを育てていたら、真冬につぼみがつき、次々に花を咲かせてくれました。開花を待つ間も、花が開いた時も幸せな時間でした。

患者さんへのメッセージ

心理検査と聞いて不安に思う方もおられるかもしれませんが。心理室の職員は、検査を通じて、患者様が生活しやすくなるような小さなヒントを見つけるお手伝いができればと願っています。どうぞ安心してご来院ください。



看護部南2病棟看護師長
弘畑 真紀

出身地：兵庫県尼崎市

この病院に来て、最初に感じた印象は？

自然豊かな環境で、空気が新鮮な感じがします。日の光を受けた満開の桜の下を歩き、通勤道中を楽しみました。クビアカツヤカミキリから桜を守っているお話を聞き、桜を愛でられることに感謝しました。

患者さんから言われて、一番うれしかったことは？

散髪してから初めて出勤した時に「髪切ったの？」と声を掛けて頂きました。患者さんからいつも見られているのだと、気を引き締める機会となりました。身だしなみを意識してまいります。

患者さんへのメッセージ

まだまだ学ぶことばかりですが、前任の師長さんが大切にされていた看護を引き継ぎ、みなさんのサポートができるように頑張ります。どうぞよろしく申し上げます。



地域ケア部療法士長
岸 秀典

出身地：兵庫県加古川市

この病院に来て、最初に感じた印象は？

緑豊かでゆったりとした空間があり、落ち着きます。

チョット変わった特技

パソコンいじりが好きです。買ったパソコンをカスタマイズしたり、故障したパソコンを修復したり、ハード面をイジることが好きです。たまに修理に失敗してトドメを刺してしまうこともあります。何とかの横好きですかね。デジタルには強い方だと思っています。

患者さんへのメッセージ

大学卒業後に約10年、大阪の病院で働いて兵庫県に入職しました。兵庫県入職後は加古川、西宮、尼崎を経て、ひょうごこころの医療センターへ赴任しました。ものづくりは創造するのて疲れますが、無事に完成した時には嬉しいものですよね。



地域医療連携部課長
赤木 和幸

出身地：広島県福山市

子どものころの夢は？

地中にジャガイモ（ポテト）、地上にトマトができる「ポマト」という雑種野菜の研究に感銘を受け、今までにない変わった野菜を作りたいと思っていました。

患者さんへのメッセージ

コロナ渦を経験し、日本人の生活のあり方や価値観も大きく変わり、メンタルヘルス、精神医療に関する課題もより多様化しているように感じます。その変化の中で、当センターの精神医療も常により良いものを皆様にお届けできるよう、様々な取り組みを続けています。地域の皆様のその時々ニーズにしっかりと応えできるよう、皆様、地域、当センターをつなぐ窓口として、地域医療連携機能を高めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。



外来のご案内

完全予約制です。

- ▶ **受付時間**：平日9時から17時まで ※医師の希望は受付できませんのでご了承ください。
- ▶ **予約電話番号**： **078-940-5510**（地域医療連携部直通）
再診の方で予約変更の場合は予約センターへご連絡ください。
- ▶ **予約センター**： **078-581-1013**（代表）

☆は初診の診察となります。

※休診日：土・日曜日・祝祭日及び年末年始

一般成人精神科外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	☆置塩	—	田中		見野		青山		田中	
2診	☆担当医	神川	☆担当医	井久保	松本		新居		☆担当医	今村
4診	轟		中井		曾我		和田		谷口	
5診	吉川		—		石橋		置塩		堀本	
6診	松川		佐藤		大山		葛山		袋井	
7診	—		矢幡		久保井		真殿		小林	
8診	梅木		—	坂口	金田		米村		竹中	
9診	稲村		—		近藤		☆袋井	—	☆米村	—
11診	☆松原洋	—	☆梅木	—	☆真殿	—	☆稲村	—	☆神川	—

注意）児童思春期外来のご予約は必ず医療機関からのご連絡をお願いします。

児童思春期精神科外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	木下		松尾	持田	関口	田中	渡邊		和田	
2診	—	米村	—		尾崎		尾崎		緒方	
3診	—	☆田中	☆堀本	—	☆今村	—	☆緒方	—	☆井久保	—
4診	☆松本	—	☆谷口	—	☆佐藤	—	松井		☆松井	—

- ▶ **認知症疾患医療センター**： **078-940-5522**

もの忘れ外来は認知症疾患医療センターへご連絡ください。

もの忘れ外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
3診	☆小田		☆小田		—		☆小田		—	

交通のご案内

【電車でおこしの方は】

- ▶ 阪急・阪神・ポータルライナー・JR三宮駅より市営地下鉄のりかえ、谷上駅下車、徒歩8分
- ▶ 神戸高速鉄道・新開地駅よりのりかえ、神戸電鉄・谷上駅下車、徒歩8分

【車でおこしの方は】

- ▶ 病院敷地内に無料の外来駐車場がありますが台数に限りがあります。

※神戸電鉄・市営地下鉄線谷上駅と当センターの間で患者送迎バスを運行しています。バスの時刻表は、下記のQRコードでご確認ください。



Scan Me!

